

Contents

- 1 おらんくの組合(南国市土曜市協同組合)
- 3 組合会計セミナーのご案内
- 4 組合で官公需の受注に取り組みましょう！
／官公需施策に関するセミナーを開催
- 5 インド人材視察報告
- 7 青年中央会情報“雄飛”
- 9 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構からのお知らせ
- 10 組合いんふおめーしょん
- 13 県内各業界の動向(2026年7月)

つな
人を継ぎ、組織を育む 高知県中小企業団体中央会
TEL : 088-845-8870 E-mail : info@kbiz.or.jp

ウェブでも
へんしも!

これまでの記事は
こちらから

HP: <https://www.kbiz.or.jp/>



南国市土曜市協同組合

愛されて57年、人情とふれあいの土曜市

半世紀を超えて続く土曜市

高知県では高知市の日曜市が有名ですが、南国市にも57年の歴史を刻む土曜市があることをご存じでしょうか。

土曜市は、1969年、南国市政10周年を記念して後免町の病院駐車場で始まりました。1977年に現在の場所へ移転し、1992年には屋根付き施設が整備され、雨の日でも快適に買い物ができるようになりました。私たちが協同組合として歩み始めたのは、ちょうどこの頃です。

市が始まった当初は、植木や農産物、衣料品など50店舗を超える店が軒を連ね、毎週多くの買い物客でにぎわっていました。現在は、鮮魚や野菜などの生鮮品に加え、衣類や雑貨のフリーマーケット、その場で味わえるたこ焼きや焼きそばなどもあり、多彩な顔ぶれへと変化しています。

しかし、スーパーの進出やインターネット通販の普及、出店者の高齢化などの影響により、現在の出店数は10～15店舗ほどになりました。それでも半世紀以上にわたり続けられている理由は、商品を購入する場所である以上に、人と人がつながる場所であるからだと思います。

販売だけでない土曜市の魅力

販売だけでなく、お客さんとのつながりを感じるひとときが、毎週午前10時に始まる「土佐弁ラジオ体操」です。土佐弁のラジオ体操が流れ始めると、出店者もお客さんも一緒になって体を動かします。約15年前に「市をもっとにぎやか



▲土佐弁ラジオ体操



▲七夕まつり

にしたい」という出店者の思いから始まったのですが、今ではすっかり土曜市の名物となっています。初めて訪れた人もいつの間にかその場の一員になり、楽しむことができます。それがきっかけで、常連客になったお客さんもいるほどです。

また、近年では、地域の方々とともに、さまざまなイベントも開催しています。7月の七夕まつり、12月の年末感謝祭や餅・豚汁の振る舞い、2月の節分豆のプレゼントのほか、昨年はダンスイベントやアンデス音楽の演奏会など、1年を通じてお客さんに楽しんでもらえることができました。イベントをきっかけに、これまで土曜市を知らなかった方や足を運ぶ機会がなかった方にも知ってもらえることは嬉しいことです。最近はイベントに訪れたお客さんがSNSに投稿した写真や感想をきっかけに興味を持ち、次のイベントへ足を運んでくれる方も増えており、SNSの影響力の強さを感じています。

こうした土曜市のにぎわいづくりに協力したいと、2年前には地元の大篠小学校の小学生による「土曜市もりあげ隊」が結成されました。市の運営やイベントのお手伝いをしており、出店者やお客さんと交流しながら、一緒になって土曜市を盛り上げてくれている姿は本当に頼もしいです。また、長年この場所を支えてきた出店者と地域の子もたちが交流する姿からも、土曜市が世代を超えて地域に親しまれていることを感じます。



組合プロフィール

所在地	南国市大桶甲1788番地
設立	1990年5月
組合員数	12人
主な事業	組合員の取扱品の販売促進事業



代表理事 今田 尚氏

「人情の土曜市」を未来へと

土曜市の出店者は、開市当初から親子二代、三代にわたって出店を続けている店舗も少なくありません。長年出店を続ける皆さんが、土曜市の魅力として口を揃えて挙げるのが「お客さんとの会話」です。

お父さんの代から数えて40年以上にわたり土曜市に出店してくれている出店者は、対面販売だからこそ商品のこだわりを直接伝えることができ、お客さんからも「美味しかったよ」「また買いに来たよ」といった声をその場で聞けることがありがたいと話します。コロナ禍で人との交流が難しい時期にも、こうしたつながりは途切れることなく続いていました。

その姿を見ていると、何気ない会話や交流の積み重ねが、お客さんとの信頼関係を育むのだと感じます。

一方、長い歴史を持つ土曜市に新しい仲間も加わっ



▲父親の代から干物の販売を続けて40年の吉本さん

ています。約1年前に出店を始めた出店者は、気軽にコーヒーを飲んでおしゃべりできる、誰もがほっと一息つける場所をつくっています。商品を販売するだけでなく、これまでなかった過ごし方や交流が生まれていることも、今の土曜市の魅力の一つだと感じています。

土曜市にはテーマソングがあります。その歌詞に登場するのが、「人情の土曜市」という言葉です。私は、これほど土曜市をよく表している言葉はないと思います。便利に買い物ができる場所が増えた今でも毎週足を運んでくださるお客さんがいます。その根底にあるのは、商品を売る、買うという関係だけではなく、「人と人とのつながり」ではないでしょうか。

出店者の高齢化や店舗数の減少など、課題も増えていま

す。それでも、これまで受け継いできた「人情」を大切にしながら、新しい仲間や新しい交流も取り入れ、次の100年を目指していきます。



▲コーヒーを提供している小谷さん

知っこれ
HENSIMO information
ちよいて

土曜市はこんなところ！
ワンコインで
お試し出店もできます！



土曜市は、南国市大桶で毎週土曜日の午前8時から午後1時まで開催しています。

現在、新たな出店者も募集中です！毎月第2土曜日に500円でお試し出店ができます。「販売してみたいものがある！」という方は、下記までお問い合わせください。

土曜日の朝は、ぜひ南国市土曜市へお越しください！

この旗が目印！



※位置関係を分かりやすく示した概略図です。縮尺・道路形状は実際と異なります。



場 所 高知県南国市大桶甲1788番地
お問い合わせ 090-3188-6221 (担当者:山崎)

開催時間 午前8時～午後1時(各店舗売り切れ次第終了)

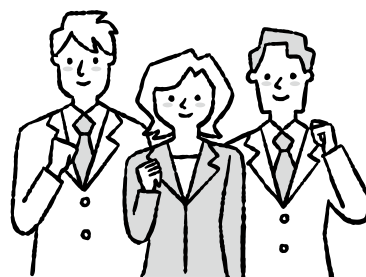
組合会計セミナーのご案内

—組合事務局人材育成事業—

参加者
募集!
無料

本会では、組合役職員の方々を対象として会計処理・税務申告をテーマとしたセミナーを開催します。

中小企業組合検定試験対策にも活用できますので、新しく役職員となられた方はもちろん、既存の役職員の方も復習及びスキルアップの機会として、ぜひご参加ください。



■実施内容

	テーマ	開催日時
第1回	・会計帳簿の仕組み ・日々の取引や組合独自の勘定科目に関する仕訳処理 ・試算表の作成 など	10月9日(金) 10:00~16:00
第2回	・決算整理仕訳 ・精算表の作成 など	10月16日(金) 10:00~16:00
第3回	・組合税制のポイント ・税金計算(消費税は除く) ・令和8年度 税制改正の概要 など	10月23日(金) 10:00~16:00

※セミナーの内容は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください

■場所 ちより街テラス 3階(高知市知寄町2丁目1-37) ※オンライン聴講も可能です

■講師 税理士 松岡宣明氏(松岡宣明税理士事務所 所長)

■定員 各回12名(オンライン聴講は定員なし)

■締切 9月30日(水)

■お申し込み方法

本会HP、または二次元コードからお申し込みください。

URL: https://www.kbiz.or.jp/r8_accounting/



<担当> 連携推進部 武田



野口



メリット
1 高めの金利設定
※当金庫内比較

メリット
2 固定金利の
半年複利

メリット
3 選べる期間
1年・2年・3年

定期預金

個人のお客さま向けの

マイハーベスト



人を思う。未来を思う。

商工中金

高知支店 088(822)4481

〒780-0870 高知市本町 4-2-46

組合で官公需の受注に取り組みましょう!

官公需とは?

官公庁(国・地方自治体)や独立行政法人が、物品購入や役務の提供を受けたり、工事の発注をすることです。

官公需適格組合とは

官公需の受注に対して特に意欲的であり、かつ受注した契約は十分に責任を持って履行できる体制が整備されている組合であることを中小企業庁(四国では四国経済産業局)が証明する制度です。

【証 明 期 間】 3年

【証 明 対 象 組 合】 事業協同組合(連合会)、事業協同小組合、商工組合(連合会)、企業組合、協業組合、商店街振興組合(連合会)

組合で官公需を受注するメリットは?

共同受注事業で、受注機会の増大が図られます!

中小企業の制約の多くは、経営規模が小さいことに起因するものが大半ですが、1社では受注できない案件でも、組合員が共同して受注すれば契約を履行できる場合が少なくありません。

また、官公需法や毎年閣議決定されている「中小企業者に関する国等の契約の方針」によって、官公需適格組合の活用促進が図られています。

官公需施策に関するセミナーを開催 <高知ビルメンテナンス協同組合>

高知ビルメンテナンス協同組合(安岡茂幸代表理事)では、7月16日、ザクラウンパレス新阪急高知で、「官公需施策に関するセミナー」を開催しました。本セミナーは、中小企業・地域事業者の活用や適正な価格転嫁、持続可能な地域経済の形成に向け、行政担当者と地域事業者が官公需を巡る政策や実務上の課題、今後の発注のあり方について情報共有・意見交換を行うことを目的として実施しました。

総務省自治行政局行政課課長補佐の秋山亮氏からは、地方公共団体における低入札価格調査制度や最低制限価格制度、価格転嫁の取り組みなどについて説明がありました。続いて、経済産業省中小企業庁事業環境部取引課統括官公需対策官の菅原廣充氏からは、令和8年度国等の契約の基本方針について、価格転嫁やダンピング防止、総合評価落札方式の活用など、中小企業の受注機会確保に向けた施策が紹介されました。最後に、EY新日本有限責任監査法人シニアマネージャーの

伏見達氏から、PPP/PFI方式への移行など公共調達を巡る変化と、共同受注を担う官公需適格組合の重要性について講演が行われました。

講演後には、パネルディスカッション形式で、スライド条項など発注に関する活発な意見交換が行われ、参加者は官公需施策の最新動向や今後の公共調達の方向性について理解を深めました。



官公需情報・適格組合制度に関することは、高知県中央会までお問い合わせください!

インド人材視察 視察報告

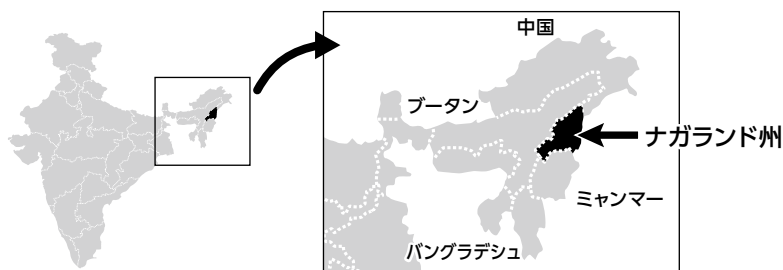


7月19日から25日までの7日間、高知県主催・本会共催によるインド共和国(ナガランド州・デリー・タミル・ナド州)視察に、農業・製造業・林業・介護・宿泊など幅広い業種の県内事業者21名とともに参加しました。高知県は自治体として初めてナガランド州との間で人材交流に関するMOU(覚書)を締結しており、今回はその関係を土台に、現地の送出機関や日本語学校、教育機関を訪問してジョブフェアに参加したほか、タミル・ナド州では製造業の高度人材候補生とも面談を行い、本県への人材受入れの可能性を多角的に調査しました。

ナガランド州

北東州の一つで、州都はコヒマ。人口は250万人でモンゴロイド系先住民族のナガ族等の16以上の部族が多数派を占め、住民の90%がキリスト教徒。主要産業は農業と林業で、州人口の約7割が農業に従事しており、ほとんどが主食である米を栽培し、作付面積の約80%を占める。

※ナガランド州は昨年7月に海外の自治体とは初めてとなる包括協定を高知県と締結するなど、本県での知名度は非常に高まっている。



日系送出機関・日本語学校「ARMS(アームス)Incorporationナガランド校」

視察初日は、日系の送出機関・日本語学校である「ARMS(アームス)Incorporationナガランド校」を訪問し、教育体制について説明を受けました。在籍する約400名の学生のうち約100名がすでに就職を決めており、送り出す人材の約8割が北東インド出身です。ナガランド州の人口は約250万人ですが、大卒者でも月収3~4万円程度で就職難という現状があり、日本での就労への関心の高さにつながっています。教育面では日本語のみによる授業に加え、時間管理や集団意識、ゴミの分別といった生活習慣の指導、さらには高知県向けに土佐弁教育まで行われており、受入れ後の定着を見据えた教育システムが構築されていました。入国後も実習生一人ひとりに担当者がつき、月1回のオンライン面談で状況を確認する体制も整っており、送出した471名のうち失踪者は今まで出たことがありません。定着実績の高さは、人手不足に悩む中小企業にとって採用計画を立てやすい安心材料といえます。



送出機関での説明・学生との交流の様子

現地ジョブフェアでの採用活動

視察2日目は、新校舎の開校式にあわせて「ARMS」主催のジョブフェアが開催され、高知県から監理団体を含む10社が参加しました。学生約200名が来場し、各ブースで多くの学生が真剣に会社の説明を聞いていました。

視察3日目には、州政府機関「IDAN(ナガランド投資開発機構)」主催のジョブフェアに8社が参加しました。学生たちの就職への熱意は高く、建設分野のエンジニア志望の学生と出会った参加事業者がその熱意を受け止め、急ぎよ面接を行い採用を決める場面もありました。開校式にはナガランド州政府関係者も出席し、そのなかで、県関係者が12月開催の現地最大の祭典「ホーンビルフェスティバル」への招待されることが表明されるとともに、来年2月頃に次回ジョブフェア開催が検討されるなど、本県とナガランド州の交流はさらに深まっています。



ジョブフェア会場・企業ブースの様子

ナガランド工業専門学校(NAGALAND TOOL ROOM & TRAINING CENTRE)

州立の「ナガランド工業専門学校(NAGALAND TOOL ROOM & TRAINING CENTRE)」に訪問し、学校見学と担当教員との意見交換を行いました。電子機器・機械加工、CAD・CAM、溶接、プログラミング、AIなど幅広い技術を約200名の学生が学んでおり、就職までに2カ月から2年の技術習得期間を設けています。溶接や機械製造の技術は日本にやや劣るものの、CAD・CAMやプログラミング、AI分野では日本と同等以上の水準にあり、製造現場の図面を3D化できる人材の採用も可能です。ものづくり分野において即戦力となり得る人材が育成されていることを確認できました。



工業専門学校での実習風景

「日本エディテック」グルグラム日本語教育センター

視察最終日は、首都デリー近郊の送出機関「日本エディテック」グルグラム日本語教育センターを訪問し、人材送出しのスキームや教育内容について説明を受けました。年間100～120名を製造業・自動車整備を中心に、宿泊・介護・農業など多分野へ送出しており、6カ月間の会話中心の日本語教育に加え、入国直前の1カ月は寮生活を通じて日本式の生活習慣を身につけさせるカリキュラムが組まれていました。北東インドではアッサム州やミゾラム州にも拠点を広げる計画が進んでおり、MOU締結地域にとどまらないインド全土からの人材確保が可能になりつつあることも確認できました。



送出機関での日本語授業の様子

私立SRM大学・「日本エディテック」のチェンナイセンター

視察3日目からは、製造業者中心とした6名がタミル・ナド州へ移動し、「私立SRM大学」を訪問して学校見学と学生との交流を行いました。東京ドーム35個分の広大なキャンパスに機械・電気・電子通信工学などを学ぶ学生が13,000人在籍し、これまで140名の卒業生を日本へ輩出しています(うち本県就労実績は3名)。大手電機・電子メーカーとの共同研究や卒業生の送出しなど日本企業との提携も進んでおり、日本語クラスでは50～200時間程度学び、入国までにN3を取得させる体制が整備されています。ある企業の求人では12名の枠に約200名が応募し、大学側の選考を経て20名を採用した事例も紹介されました。



大学キャンパス・学生との面談の様子

同日には送出機関「日本エディテック」のチェンナイセンターに訪問し、エンジニア候補生7名と面談を実施しました。多くがN3レベルの日本語力と3DCADの技術を身に付け、車両設計の実務経験を持つ学生もいるなど、製造業の高度人材確保に向けた選択肢の広がりを感じました。

今回の視察をきっかけに、技能実習・特定技能外国人材が多数採用されたほか、高度人材の採用を検討する動きも見られ、早くも大きな成果がでてきています。特に7月22日には県内の農業法人がナガランド大学と協定を締結し、インターンシップ生を本県で受け入れることで合意するなど、新しい人材交流の広がりも生まれました。本県ではすでに40名を超えるナガランド州出身者が就労しており、現地から、高知に対しての期待も高まっています。人手不足に悩む中小企業にとつて、ナガランドでの教育体制や人材の質、そして採用に懸ける学生たちの熱気を自らの目で確かめることは、会社を支える優秀な人材の採用に繋がるポイントです。

本会では今後も、県と協力しながら会員企業の海外人材活用を後押しする視察機会を積極的に企画してまいります。今後もぜひ多くの会員の皆様にご参加いただければと思います。

採用が決まった学生との記念写真



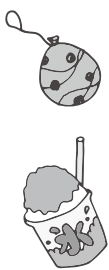
第29回 青年部まつりを開催

青年中央会の夏の恒例事業である組合青年部まつりを、去る7月25日(土)午後4時から午後8時まで高知市帯屋町1丁目・2丁目商店街内で開催しました。

本イベントは、会員青年部及び青年部員間交流の促進、また地域社会への貢献を図ることを目的として、協同組合帯屋町筋主催の土曜夜市内に青年中央会で出店ブースを構え、会員青年部が出店することにより実施しているものです。

当日は土曜夜市開催の最終日ということもあり、会場は多くの家族連れなどで賑わう中、6青年部、総勢60名の青年部員が参加し、それぞれ趣向を凝らしたゲームや青年部PR活動等に汗を流しました。また青年部まつり終了後には合同懇親会を開催し大いに親睦・交流を深めることができました。

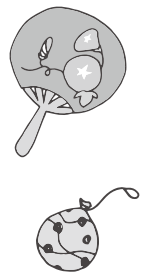
出店青年部名(順不同)	出店内容
高知中央電気工事業協同組合青年部・ 高知県香長地区電気工事業協同組合青年部会(合同出店)	射的、スーパーボールすくい、 電流イライラ棒 等
一般社団法人 高知ビルメンテナンス協会青年部会	サイコロゲーム、ダーツ
高知県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部	射的
高知県板金工業組合青年部	銅板折鶴加工実演販売
高知県室内装飾事業協同組合青年部	カーテン生地販売、スーパーボールすくい



高知中央電気工事業協同組合青年部・
高知県香長地区電気工事業協同組合青年部会(合同出店)



一般社団法人 高知ビルメンテナンス協会青年部会



高知県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部



高知県板金工業組合青年部



高知県室内装飾事業協同組合青年部

お客さまの
笑顔の花を
咲かせるしごとです。

お金のこと、経営のことのほかにも、デジタル化の
推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対して
その道のプロフェッショナルが解決策を提案します。
信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポート
します。

高知県信用保証協会

〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069
URL <http://www.kochi-cgc.or.jp/>

.com BANK | 未|来|フ|ア|ク|ト|リ|ー |

お客様のより良い未来を創造する「未来ファクトリー」。
ソーシャルインフラを創造する「未来ファクトリー」。
県民の方々の幸せな暮らしや事業、
安全・安心にお応えできる金融サービスをお届けします。

高知信用金庫

ドットコムバンク 検索

経営能力向上セミナーのご案内

本会では、次代を担う経営者・後継者の育成、会員相互の更なる交流・親睦を深めることを目的に、下記の内容で経営能力向上セミナーを開催いたします。

本セミナーでは、近年急速に普及している生成AIについて、業務の効率化や生産性向上につなげるための具体的な活用方法を紹介します。生成AIを活用することで業務負担の軽減や効率化が期待できる事例を交えながら、実際の業務改善に役立つ活用方法について分かりやすく説明いたします。

また、研修会終了後には、恒例の懇親会も開催いたしますので、お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

テーマ	業務改善に繋がる生成AI活用セミナー
講師	NTTアドバンステクノロジー株式会社 山本洋介 氏
開催日時	10月1日(木) 17時～19時 ※懇親会は19時より
開催場所	城西館(高知市上町2丁目5-34)
参加費	無料(※懇親会費は9,000円)
申込締切	9月18日(金)

参加申込フォーム



<担当> 連携推進部 武田

久保



チャレンジ!

検定試験を受けて組合士になろう!!

令和8年度

中小企業組合

検 定 試 験

試験日
12月6日
SUN

お申し込みはこちら

高知県中央会HPでも「へんしも情報」が読めます!



スマホでも

組合員への共有も、URLや二次元コードを送るだけで楽々!



PCでも



バックナンバーも掲載!

(二次元コード)

▼HPからのチェックはこちらから
<https://www.kbiz.or.jp/henshimo>
 高知県中央会ホームページにアクセスして
 【中央会情報誌「へんしも情報」】のバナーから
 ご覧になれます!



独立行政法人

高齡・障害・求職者雇用支援機構 高知支部

私たちは、厚生労働省所管の組織として、高年齢者雇用及び障害者雇用に係る事業主への様々な支援を行っています。高年齢者雇用に関するご相談は、高知支部高齡・障害者業務課の窓口までご連絡ください！

〈主な高年齢者雇用支援内容〉

70歳までの就業機会の確保に向けた相談・援助等の実施

70歳雇用推進プランナー・高年齢者雇用アドバイザー(※)が企業等を訪問し、70歳までの就業確保措置等に関して広く周知を行うとともに、次の業務を行います。

- 人事管理制度や賃金・退職金制度の整備、職場改善、職域開発などについて、**専門的・技術的な相談・助言**を行います(無料)。
- 制度改定のマニュアルや他社の取組みにおける**好事例**を提供します(無料)。
- 企業診断システム(雇用力評価ツール)**を利用して、高年齢者を活用するうえでの課題を「見える化」し、課題解決策をアドバイスします(無料)。
- 70歳までの就業機会確保等に向けた**高年齢者戦力化のための定年引上げや継続雇用延長等の制度の見直しに関する具体的な提案**を行います(無料)。
- 相談・助言によって明らかになった課題解決を図るため、解決策を提案し**企画立案や就業意識向上研修**のサービスを行います(有料)。

(※)70歳雇用推進プランナー・高年齢者雇用アドバイザーとは、JEEDが委嘱し、全国に配置している高年齢者雇用問題に精通した専門家(社会保険労務士、中小企業診断士、経営コンサルタントなど)です。



詳しくは
こちらから



『生涯現役社会の実現』に向けた啓発活動の実施

- 毎年10月に、「**生涯現役社会の実現に向けた高年齢者活躍促進セミナー**」を開催しています。主な内容は70歳までの就業機会の確保に向け高年齢者雇用に取り組む先進的企業事例に関わる講演などです。**令和8年度は10月22日(木)に開催します。ぜひご参加ください。**

詳しくは
こちらから



- 厚生労働省と当機構の主催による「**高年齢者活躍企業コンテスト**」では、高年齢者が長い職業人生の中で培ってきた知識や経験を職場等で有効に活かすため、企業等が行った創意工夫の事例を広く募集・収集し、優秀事例について表彰を行っています。

詳しくは
こちらから



高年齢者等の雇用安定のための給付金の支給

【65歳超雇用推進助成金】

- 65歳超継続雇用促進コース(定年廃止や定年・継続雇用年齢を引き上げた事業主)
- 高年齢者評価制度等雇用管理改善コース(賃金制度や健康管理制度等の雇用管理制度を整備する事業主)
- 高年齢者無期雇用転換コース(有期契約労働者を無期雇用労働者に転換する事業主)

高齡・障害者業務課では、給付金の申請窓口として、制度のご紹介やご相談などの業務及び申請書の受付、点検などの業務を行っています。

詳しくは
こちらから



お問い合わせ

独立行政法人

高齡・障害・求職者雇用支援機構(JEED)

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

高知支部 高齡・障害者業務課

〒781-8010 高知市棧橋通4丁目15-68

TEL : 088-837-1160 (窓口ご利用時間:9:00~17:00(土日祝日は休み))

HP : <https://www.jeed.go.jp/location/shibu/kochi/>

HP





組合いんふおめーしょん

KUMIAI information

高知県旅館ホテル生活衛生同業組合

KUMIAI
information

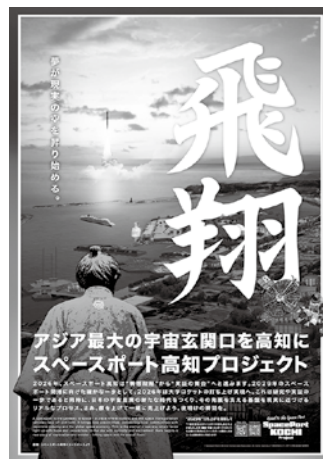
⑧ スペースポート高知構想に関する勉強会を開催します！

高知県旅館ホテル生活衛生同業組合(藤本正孝理事長)では、9月29日(火)に、「スペースポート高知構想に関する勉強会」を開催します。

現在、県内で「スペースポート高知構想」が本格的に動き出しています。スペースポートは、単なる宇宙関連施設にとどまらず、新しい観光客層の呼び込みや滞在型観光の強化、地域ブランド・回遊性の向上など、私たちの観光産業や地域経済に大きな波及効果をもたらす存在として期待されています。

県内の観光・産業振興に大きく寄与する可能性を秘めたプロジェクトではありますが、「興味はあるけれど、まだ詳しいことはよく知らない」という方も多いのではないのでしょうか。

県内の新たな観光資源としての「スペースポート」の可能性について、ぜひ一緒に考えてみませんか？皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください！



日時 9月29日(火)15時～17時30分 **場所** 高知サンライズホテル 2階「向陽の間」

内容 ◇スペースポート高知 活動進捗報告(10分)
◇講演①「地域とともに築く宇宙港(仮)」(60分)
- HOSPO におけるスペースポート開発の課題とその先
SPACE COTAN株式会社 事業運営グループ 高瀬 友輔 様
◇講演②「スペースポートを起点とした観光開発(仮)」(60分)
株式会社「TB ツーリズム事業本部 宇宙事業開発グループ 佐藤 憲一 様

申込み 下記より申込書類をダウンロードいただき、
9/18(金)までにFAXにてお申込ください

旅館組合HP <https://www.kochinoyado.or.jp/news-detail.php?id=40>



お問い合わせ先 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合事務局 TEL:088-823-5941

高知県電気
工事業工業組合

KUMIAI
information

「⑨ 未来の電気屋さん教室」を開催！

高知県電気工事業工業組合青年部会(片岡祥太郎会長)では、8月8日(土)、高知工業高等学校で、将来の職業選択のきっかけとすることを目的に、周辺小学校の子どもたちに電気工事の楽しさや大切さを体験してもらう「未来の電気屋さん教室」を開催しました。

当日は、電気やLEDの仕組みについて学んだ後、「ゆめいろらんぷ」づくりに挑戦しました。完成したランプが点灯すると子どもたちから歓声が上がリ、達成感に満ちた笑顔も見られました。

青年部では、今後もこうした活動を通じて、次代を担う人材の確保・育成につなげていきます。



② 商店街通りの愛称を“板垣退助通り”と名付けました！

天神橋通商店街振興組合(湯山眞理理事長)では、7月16日(木)、商店街の愛称を「板垣退助通り」と定め、そのお披露目式を開催しました。

当商店街は、自由民権運動の指導者として知られる板垣退助の生誕地に隣接しており、こうした歴史的な縁を生かして地域の魅力を発信しようと、今回の愛称が名付けられました。

当日は、板垣退助の108回目の命日に当たり、商店街の一角にある生誕地碑の前で、来賓や商店街関係者らが出席し、式典が行われました。また、板垣退助の玄孫に当たる高岡功太郎氏が揮毫した「板垣退助通り」の文字をあしらった垂れ幕も披露されました。

商店街ではこれまでも板垣退助の功績を顕彰する生誕祭を開催しており、今後は、その名を冠した通りとして、より多くの人々が訪れ、親しまれる場所となることを目指し、さらなるにぎわい創出に取り組んでいきます。



③ 台湾食文化現地視察を実施しました

高知県中華料理生活衛生同業組合(中越泰雄理事長)では、6月22日(月)から25日(木)の4日間にわたり、台湾食文化現地視察を実施し、組合員など総勢23名が参加しました。

今回の視察では、台湾最大級の問屋街である「迪化街」をはじめ、「雙連朝市」や「南門市場」、活気あふれる「饒河街観光夜市」など、現地の市場を幅広く巡り、伝統食材の現地調査を通じて、新メニューへの応用可能性や新たな食材調達ルートの検討を行いました。

また、3日目の台北国際食品見本市「FOOD TAIPEI 2026」の視察の際には、高知県中央会の補助事業を活用し、高知県台湾オフィスを通じて現地の通訳に同行いただいたことで、現地事業者と円滑なコミュニケーションを図ることができ、各ブースでも活発な質疑応答を行うことができました。

商品の詳細や製法、最新のフードトレンドなど、今後のメニュー開発や経営のヒントとなる有益な情報を多角的に収集することができ、大変有意義な視察となりました。



高知市商店街
振興組合連合会

KUMIAI
information

「**商**」店街大盆踊り大会2026」を開催しました！

高知市商店街振興組合連合会(早川賢治理事長)では、7月25日(土)、大旺新洋おまち多目的広場で「商店街大盆踊り大会2026」を開催しました。

当日は2部制で行われ、第1部では、子どもたちが家族と一緒に盆踊りを楽しみ、第2部では、懐かしの名曲から話題のヒット曲まで、幅広い音楽に合わせて大人たちが踊りを楽しみました。

会場には浴衣姿の参加者も多く訪れ、世代を問わず多くの人でにぎわう、夏らしいひとときとなりました。

今後も商店街に多くの人が集い、世代を超えて楽しめるイベントを企画・開催していきます。



高知県菓子
工業組合青年会

KUMIAI
information

「**第**」25回中四国ブロック大会in高知」を開催しました

高知県菓子工業組合青年会(西村大輔会長)では、7月15日(水)、「高知市文化プラザかるぽーと」で、「全国菓子工業組合連合会青年部第25回中四国ブロック大会in高知」を開催しました。

本大会は、中四国各県の青年部員が一堂に会し、業界・経営課題や各地の取組を共有するとともに、学びと交流を通じて相互の結束を深め、地域の菓子業界の持続的な発展につなげることを目的に開催されたものです。

当日は、青年部間の交流や各地の取り組みの共有に加え、高知大学土佐FBC特任教授の松田高政氏より「地域資源を生かした売れる商品づくり」と題した講演会が行われました。また、高校生の和菓子づくりコンテスト「第17回全国和菓子甲子園」の中四国代表2校を決める選考会もあわせて実施されました。

今後も地域の枠を超えた連携を深め、次世代育成と業界の発展に努めてまいります。



「**土**」佐ふれあいサマーキャンプを開催しました！

土佐ふれあい協同組合(坂本重法理事長)では、7月18日(土)、土佐市宇佐おかげ公園で毎年恒例のサマーキャンプを開催しました。

ベトナムやインドネシアからの技能実習生・特定技能外国人をはじめ、受入機関や送出し機関の関係者など過去最多となる約450名が参加し、バーベキューを楽しみました。当日は天候にも恵まれ、久しぶりに会う友達や他の国の仲間たちとの交流を深め、会場はたくさんの笑顔と笑い声に包まれました。

今後も高知県と世界をつなぐ懸け橋となるよう、外国人や事業者の皆様に寄り添いサポートしていきます。



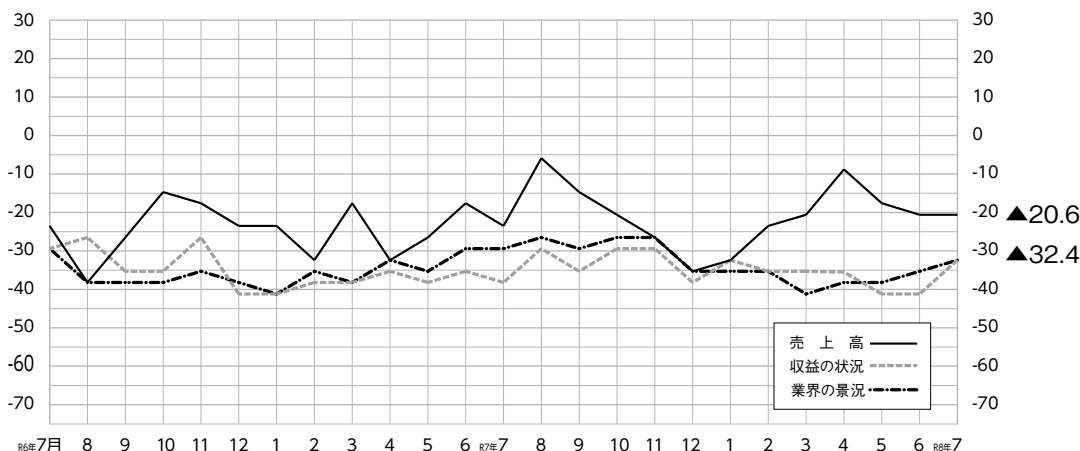
土佐ふれあい
協同組合

KUMIAI
information



情報連絡員報告

DI(景気動向指数)



業界の状況



…好転



…不変



…悪化

	電気機械器具小売	7月度はスタンダードタイプエアコンが好調で、前年比128%、エコキュートは前年比106%、4K8Kテレビ前年比96%、リフォーム関連全額で前年比102%、全商品平均で121%となった。
--	----------	--

	食品団地	不安定な中東情勢や円安の影響を受けて、相変わらず原材料費や仕入れ値の高騰に苦慮している事業者がいるものの、景況全体としては、さほど大きな変化は見られない。観光需要に左右される食品事業者も多いことから、夏休みや、よさこい祭り、お盆などの“かき入れ時”への期待が大きいところ。
	酒類製造	原料米に関しては、主食用米の価格が大幅に下落する中、高知県産など一部では全農からの買入価格が決定し、前年価格から15～20%程度の上昇傾向となっている。主食用米の米価高騰からの急激な下落による影響など、酒米の安定供給には引き続き懸念が残っている。販売面では、これまで数カ月間にわたり前年同月比で伸び悩んでいた飲食店などの業務筋向け、小売向けともに、今月はやや復調の動きが見られた。しかし、物価上昇や消費者の節約志向が続く中、販売面で先行きを明るくする材料は乏しく、今後の市場動向については依然として不透明な状況にある。輸出については、引き続き好調に推移している。
	テントシート	原材料の高騰を販売価格への転嫁ができつつあると思われるなか、6月1日より中東情勢により原油・ナフサ価格の上昇および石油化学製品の供給環境の悪化の影響で、全製品の大幅な価格改定(15%-25%)があった。品薄状態も続きそうである。販売価格への転換に厳しい状況がまだまだ続くと思われる。
	木製品素材生産	7月期の原木出材量は、梅雨明けし、多少増加傾向にはあるが、ほぼ横ばいで推移している。丸太価格については、ヒノキも下げ止まりの状況で、多少上向き傾向となってきているが、全体的にはほぼ横ばいで推移。8月に入り、暑い日が続いており、原木出材量は多少増えてくると思われるが、今後台風の影響が心配される。丸太価格については、製品の動きは鈍く樹種によって変動が見られ、なかなか先行きが読めない。なお、心配された虫害は大きな影響はなかった。
	建具	ナフサ不足の影響で入荷待ちとなっていたシンナーやゴム糊がようやく入ってきた。これで組合員も助かると思う。ただ金物の値上げがずっと続いているので心配。
	製紙(家庭紙)	紙製品全体として、前年同月比で前月と同様に販売金額は上回った。しかし、生産量及び販売量は若干下回った。また、品目別では、前年同月比で雑種紙は販売金額、販売量および生産量は上回った。衛生用紙は、販売金額が上回った一方で、販売量および生産量が下回った。
	製紙(手すき和紙)	今月は昨年度比で横ばいとなった。まだまだ動きが鈍く物価高騰の嵐でますます状況悪化が懸念される。引き続き厳しい状況が続いており、景気回復は感じられない。
	コンクリート製品	対前年同月比129.2%。4組合員の加入により、前年度より出荷が多くなっている。前年度と比較すると公共事業費は横ばいであることから、組合員の増加による影響と分析している。また、中東情勢が不透明であり今後の資材調達に関して、業界への影響が懸念される。
	刃物製造	小売、県内卸売りは順調に売上を伸ばすことができたが、県外・海外への卸売りが悪く、前年を下回ってしまった。中でも海外への出荷の書類が複雑になりすぐに出荷ができない状況になり、遅れてしまった。
	機械団地	金属加工の一部事業所で、受注が落ち込み売上・収益が減少したとの声がある。団地内の業況は、好材料なく足踏みの状況が続いている。
	船舶製造	7月納期の契約が複数あったため、前年と比べ売上高が増加した。
	珊瑚装飾品製造	7月度の取引額は、前年同月比で90%となり、2カ月連続で前年を下回った。

	青果卸売	7月の取扱高は組合員全体で前年対比10.7%となった。3カ月連続で前年を上回り、お中元商戦は比較的好調であったが、飲食は振るわなかった。今年の1月から7月までの累計は99.8%となり、お盆商戦・よさこいなどのイベントに期待。
	生鮮魚介卸売	今年も取引額は前年比1割減だった。全体的に鮮魚の入荷量が減少している。8月は売上が多い月だが、台風が心配。カツオに期待している。
	中古自動車小売	オークション相場は安定していて仕入れ易い環境ではあるが、流通量が安定していないため注文車両や展示車両の確保が厳しいが、来店数や問合せ件数は先月同様増加傾向にある。
	商店街(高知市)	7月の駐車場利用台数は、前年同月比104.4%となり、前年同月より1,195台増加した。料金収入についても、前年同月比105.1%となり、前年同月より463千円の増収となった。これは、駐車場利用台数の増加によるもの。また、人流カメラによる集計では、7月の来街者数は前年同月比6.2%増となり、5地点すべてで前年同月を上回った。恒例の土曜夜市については、開催4日間の1日当たり来街者数を前年と比較した結果、すべての地点で増加しました。特に、7月11日に「ウルトラマンヒーロー撮影会」が開催された日は、7月の月間最多となる来街者数を記録した。さらに、7月はクルーズ船が6隻寄港しており、昼間時間帯における中心市街地への回遊を後押ししたものと考えられる。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比124%、全旅クーポン合算後前年同月対比87%。修学旅行等の団体旅行が、春より秋に多くなったコロナ禍以降、秋のトップシーズンは、学校行事も重なりバス手配が困難な状況であると会員より報告がある。募集、受注団体のバス手配が困難を極めている(県外旅行会社より、高知県内のバス手配ができないとの報告あり)。
	IT事業	今月の売上は前月とほぼ同水準で、例年と比較すると低い状態が続いている。大型案件の減少により需要の落ち着いた状況が続いているため、入札参加や新規開拓、新商品開発への取り組みを継続し、下半期の増収を目指す。
	一般土木建築工事	工事の発注件数は例年通りであるが、依然として収益率は低下傾向となっている。
	電気工事	組合員の施行する電力引込線工事は、前年同月比134.6%となった。安芸・中芸・室戸地区が45.5%となったものの、高知・中央・香長地区が165.4%となった。
	タクシー	実働1日1車当たりの前年同月対比運送収入:99.5%、回数:101.4%、実働率:50.8%。夏休み、よさこい祭とタクシーの需要が多くなる繁忙期になったのに、運転者不足で市内のタクシー600台の半分しか稼働しておらず、利用者に迷惑をかけている。少ない人数で、無事故、安全運転、おもてなしをして頑張っていきたい。

	製材	景況感が更に悪化しているとの声が多く聞かれる。
	印刷	売上減、操業度低下。今月は国文祭等の特需があったが昨年同月に万博がらみの特需があり相殺された感。県外需要は一部の業種が低迷しているが好調な部分もあり多少の上積みが見られた。ただ県内需要が相変わらず低迷、厳しい結果となった。
	生コンクリート製造	7月度単月の組合員工場の出荷量は対前年比101.9%で、4月からの累計出荷量は86.2%であった。単月で徐々に100%超えとなった。地域的には、幡多地区は減少傾向にあるが、その他の地区は対前年比100~150%で4~5月の反動と思われる。
	卸団地	物価高による経費増と労務費の上昇に伴い、事業縮小や一部の事業撤退といったマイナス要素となる変化への対応を迫られる状況にある企業が多くなってきた印象。仕入商品の値上げが続くものの、販売価格に十分転嫁できていない。
	各種小売(四万十町)	7月の町内の景気動向は、物価高支援で四万十町が配布した家計応援商品券の利用も落ち着き、これといった変動は薄い。会員に飲食店はいないが、食品消費税1%になったらどうなるのかと戸惑っている事業者もいる。また、猛暑による高温と経年劣化が重なってか、端末機械のバッテリーが膨張して故障するケースが数例発生している。すでに該当機器は生産が終了しており、かといってシステム総取り換えをする体力もなく、先々のことを本当に考えなければならない時期に来ていると思われる。
	ガソリンスタンド	アメリカとイランの紛争が収まるかと思われ、ガソリン仕切り価格も毎週下落し、同時に国の補助金も減り、7月第2週には残り2.8円まで減っていたが、再び両国の緊張が強まり、元売りからの7月の仕切値上げは20円を超え、補助金支給額も28.2円/Lと再び増えている。政府は現在、平均を170円に抑える様に補助金を出しているが、今後175円に引き上げる話もでており、アメリカ・イランの動向によっては変更になる可能性がある。今後の政府の動きを注視したい。
	商店街(安芸市)	7月4日(土)に農福商連携「軽トラマルシェ」を実施。昨年度は諸事情により開催を見送ることとなったが、2年ぶりに開催することができた。当日はあいにくの雨だったが、たくさんの方にお越しいただいた。「安芸市家計支援クーポン」および「安芸市地域応援プレミアム付き商品券」が導入されたので、消費者の購買意欲の促進に期待する。
	商店街(四万十市)	商店街全体については人通りも少なくともさびれているように思うが、個々それぞれに固定客というものが、ほぼ前年の水準を維持しているように思う。先行きについて大いに不安を感じている。
	旅館・ホテル	前年に比べて需要が落ちてきた印象。台風の被害など収益へのダメージも深い。夏場以降の見通しは悪くないが、人材不足解消などの受け入れ態勢整備が急務。
	飲食店	売上高は前年同月を下回る、物価高により販売価格が上昇していることを考慮すると収益は相当悪化している。加えて物価高に業界の価格転嫁は追いついていない。また全東信破産による売上金未入金の影響を受けた事業所もあり、業界の景況は悪化している。前年度同月に比べ、さらに物価は高騰。光熱費・仕入れ価格・人件費、すべての経費が上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
	クリーニング	物価高や中東情勢などの不安定化の影響が、消費者の節約志向は変わらず、ホームクリーニングの点数減が続いている。今月から石油系溶剤が値上がり、来月より紙関連が値上がりする。経費節減のためかチェーン店の組合脱退が続いている。リネン・ユニホーム業界は堅調。
	一般貨物自動車運送	荷動きは鈍いようで、燃料価格も7月は1円弱の値上げとなり、価格が高止まりしたままで組合員企業の経営を圧迫している。米、イラン双方の攻撃の応酬により中東情勢が不安定なまま、更なる価格上昇が懸念される。

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



* 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込み
いただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い
込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記まで
お問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあ
たっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起
情報)」「ご契約のしおりー約款」および高知県中小企業団体中央会
の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の
代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL: 088-882-3402
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2023-432 (損保) A-2023-112 (2023.9)
R-2023-1009 (2023.9)

制作
発行



つな
人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会

※組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館 4 階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

